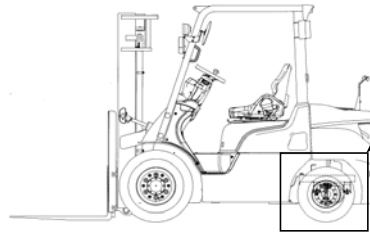


改善箇所説明図



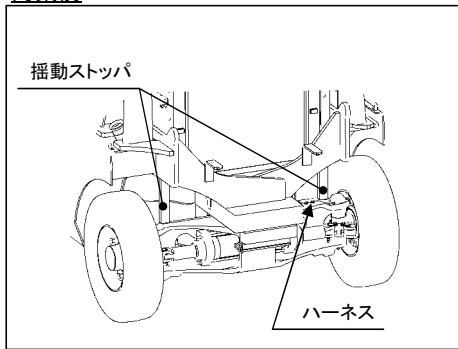
基準不適合箇所

リアアクスル揺動ストッパの強度が不足しているため、凹凸路や坂路で走行中に、揺動ストッパとアクスルが接触した状態でステアリング操作を行うと揺動ストッパが変形することがある。そのため、ハンドルを最大操舵角まで切ったとき、当該ストッパとタイヤが接触して、最悪の場合、タイヤがパンクするおそれがある。

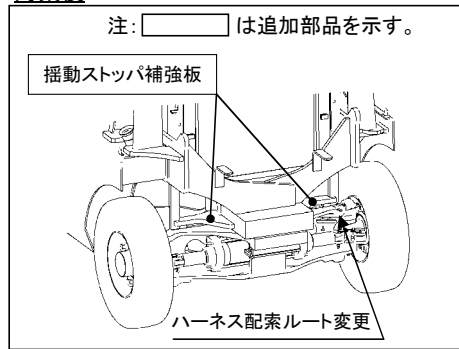
型式KF2D,F25C,F25CL,SA-F16D,F34,F34L用 改善内容

①操舵角センサハーネスの取り回しを変更し、揺動ストッパに補強板を追加溶接する。

対策前



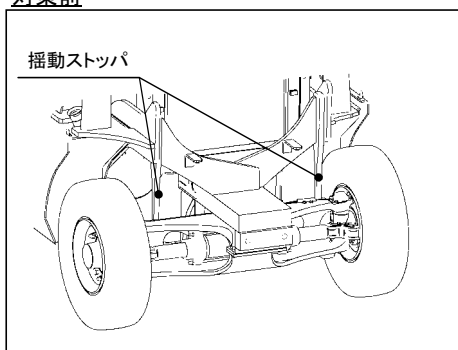
対策後



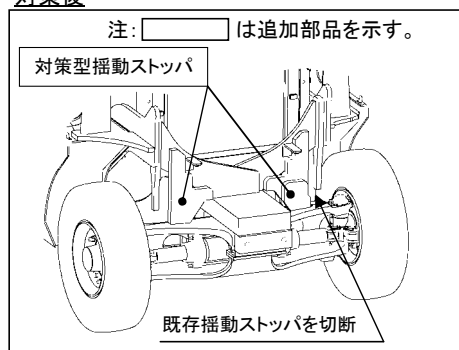
型式F17D,F17DL,SB-F18C,F35,F35L用 改善内容

②既存の揺動ストッパを切断し、対策した揺動ストッパを追加溶接する。

対策前



対策後

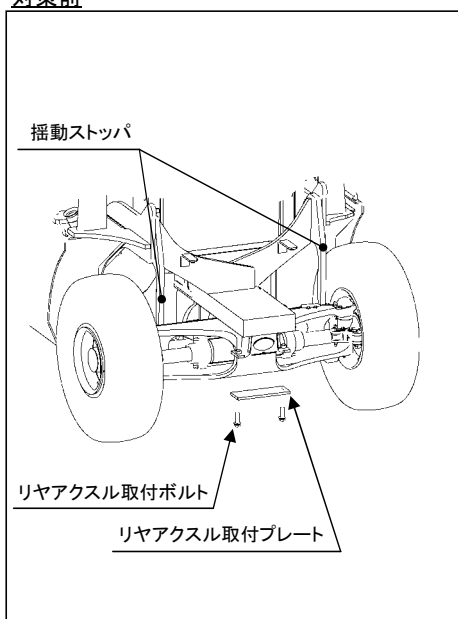


型式F13F,SB-F14E用 改善内容

②既存の揺動ストッパを切断し、対策した揺動ストッパを追加溶接する。

③リアアクスル取付プレート、ボルト、ワッシャ及びナットを対策品に交換する。

対策前



対策後

